

東北地方 1か月予報

(3月31日から4月30日までの天候見通し)

平成19年3月30日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるでしょう。東北地方では平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。期間の前半は気温の変動が大きい見込みです。一時的な寒気の影響でおそ霜のおそれがありますので、農作物の管理には注意して下さい。

週別の気温は、2週目は平年並または低い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 3月31日(土) ~ 4月30日(月)
1週目 : 3月31日(土) ~ 4月6日(金)
2週目 : 4月7日(土) ~ 4月13日(金)
3~4週目 : 4月14日(土) ~ 4月27日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は4月6日
3か月予報:4月25日(水) 14時

東北地方 1か月予報解説資料

平成19年3月30日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(3月31日~4月30日):

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方では平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。期間の前半は気温の変動が大きい見込みです。一時的な寒気の影響でおそ霜のおそれがありますので、農作物の管理には注意して下さい。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1週目(3月31日~4月6日):

気圧の谷や寒気の影響で雨または雪の日が多いですが、期間の終わりは晴れるでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

2週目(4月7日~4月13日):

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。一時寒気の影響でおそ霜のおそれがあるでしょう。

平均気温は平年並または低い確率がともに40%です。

3~4週目(4月14日~4月27日):

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北地方では平年に比べて晴れの日が少ないでしょう。

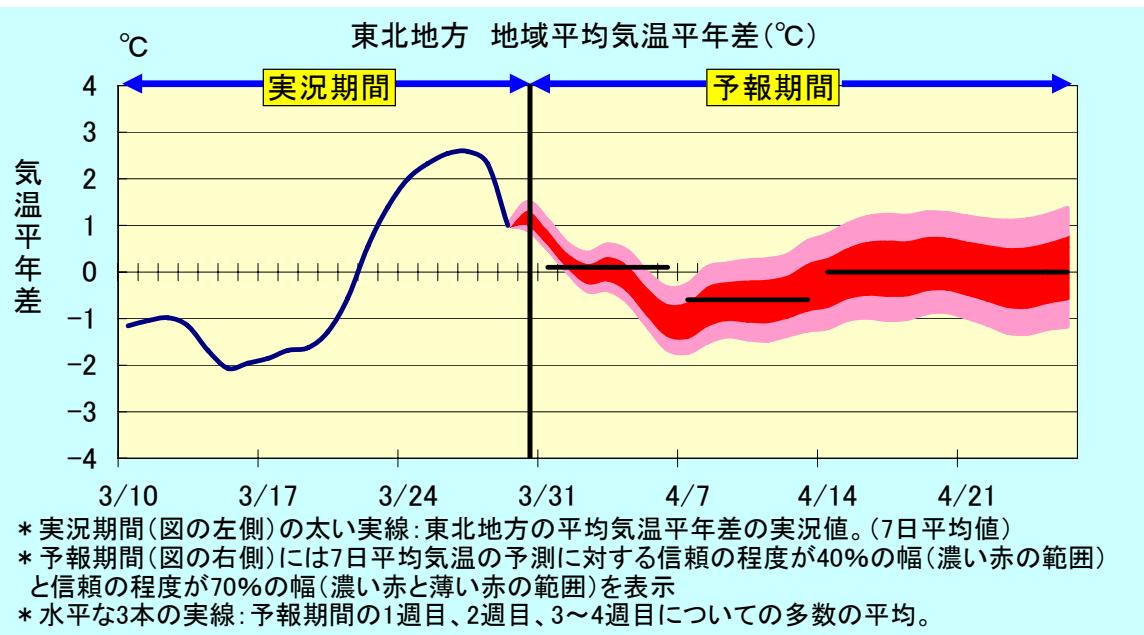
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.4日	3.8日	3.6日	8.0日
東北太平洋側	17.0日	4.4日	4.1日	8.5日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目、2週目、3~4週目ともに平年並付近の予想となっている。

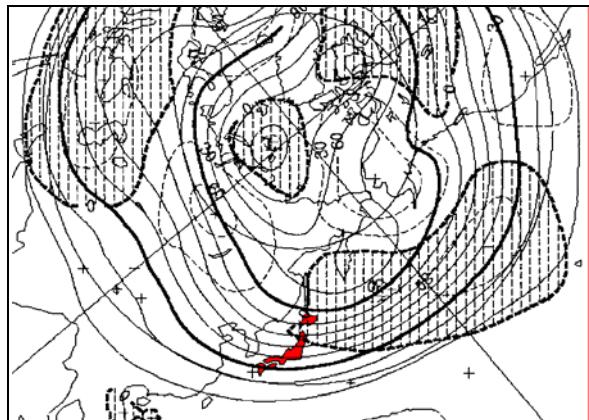


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

1か月平均：バイカル湖の西とアラスカ付近に強い正偏差域がある。中緯度は概ね正偏差だが、北日本付近から太平洋北部には負偏差域がのびる。

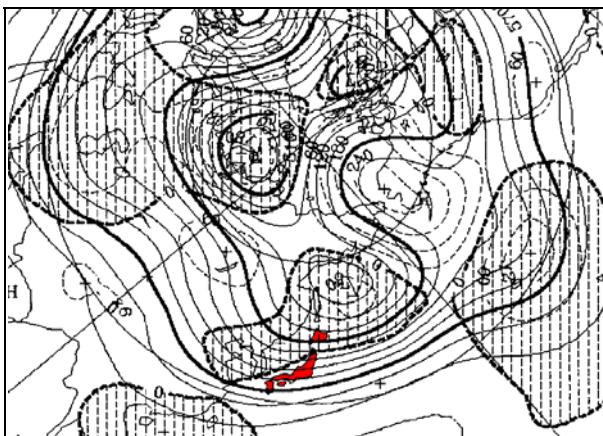
1週目：日本付近は西谷傾向で、日本海と北海道には負偏差域がかかる。本州付近は正偏差域。このため、日本付近では低気圧が発達しやすく、気温は平年並が予想される。

2週目：日本付近は日付変更線付近を中心を持つ負偏差域に覆われる。下層の天気図（図略）でも日本付近は負偏差となっている。偏西風の蛇行も顕著で、日本付近には一時寒気の南下が予想される。

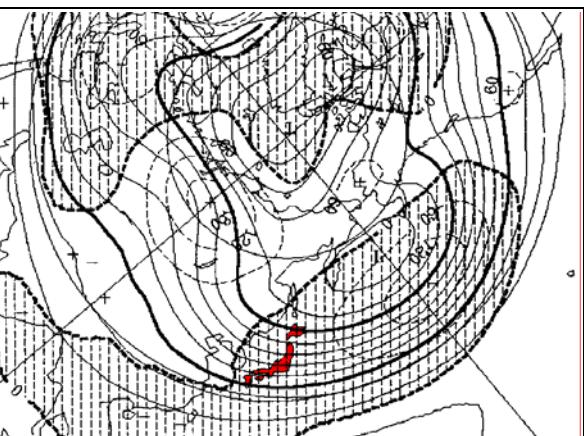


1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図



2週目平均 500 hPa 予想天気図

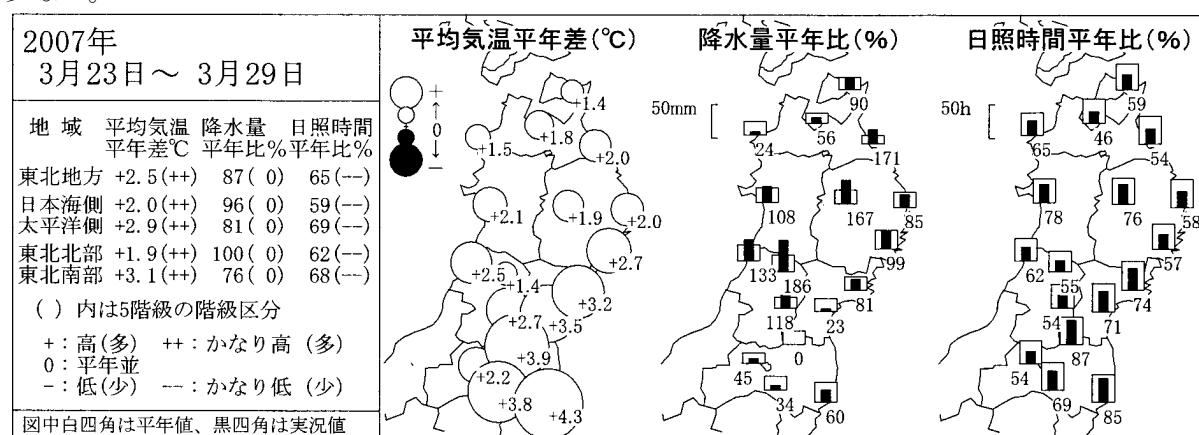
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（3月23日～3月29日）の天候の経過

この期間、低気圧や前線の影響で曇りや雨または雪の日が多かった。低気圧や前線の通過の合間に高気圧が移動してきたが、日本の南岸沖を通過することが多かったため、日照時間は少なかった。また、低気圧の通過時には南から暖かい空気が流れ込んだため、気温の高い日が多かった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北地方でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

東北地方の桜の開花状況 2007年 (統計期間:1953年~2006年:平年値は1971年~2000年)

観測地点	開花日					満開日				
	今年 (2007)	平年値	昨年 (2006)	最早/起年	最晩/起年	今年 (2007)	平年値	昨年 (2006)	最早/起年	最晩/起年
青森		4.26	5.01	4.14/2002	5.11/1984		5.01	5.06	4.16/2002	5.18/1984
八戸		4.24	4.29	4.12/1990	5.18/1984		4.28	5.02	4.16/2002	5.23/1984
盛岡		4.23	4.24	4.11/2002	5.06/1984		4.27	4.30	4.16/2002	5.09/1984
宮古		4.20	4.23	4.08/2002	5.07/1984		4.25	4.28	4.13/2002	5.19/1984
仙台		4.12	4.13	3.29/2002	4.28/1984		4.18	4.18	4.03/2002	5.03/1984
秋田		4.19	4.21	4.07/2002	4.30/1984		4.24	4.26	4.12/2002	5.08/1965
山形		4.17	4.18	4.03/2002	4.29/1984		4.21	4.23	4.06/2002	5.04/1984
酒田		4.16	4.16	4.04/2002	4.27/1984		4.20	4.21	4.08/2002	5.02/1965
福島		4.11	4.12	3.29/2002	4.25/1984		4.15	4.15	4.02/2002	4.28/1984
小名浜	3.29	4.08	4.03	3.25/2002	4.25/1984		4.14	4.11	4.01/2002	4.29/1984
深浦	---	4.26	---	4.13/1990	5.07/1984	---	5.01	---	4.20/1990	5.15/1984
むつ	---	4.29	---	4.19/1989	5.20/1984	---	5.03	---	4.22/1989	5.25/1984
大船渡	---	4.18	---	4.09/1989	5.01/1984	---	4.23	---	4.14/1990	5.07/1984
石巻	---	4.18	---	4.07/1989	5.03/1984	---	4.22	---	4.12/1990	5.06/1984
新庄	---	4.23	---	4.13/1990	5.06/1984	---	4.27	---	4.17/1990	5.11/1984
若松	---	4.16	---	4.07/1989	4.28/1984	---	4.21	---	4.11/1989	5.05/1965
白河	---	4.15	---	4.06/1954	4.28/1984	---	4.20	---	4.10/1990	5.02/1984

深浦以下の「最早」と「最晩」は1996年まで

深浦以下の「平年値」は1971年から観測終了年までの平均値を使用している

開花: 標本木が5~6輪開花した状態

満開: 標本木全体のつぼみの80%以上が開花した状態

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	7.8	66.6	190.6	5.4	6.9	8.9
深浦	8.2	99.6	176.8	6.0	7.4	9.2
むつ	7.1	85.9	196.6	4.8	6.2	8.1
八戸	8.1	62.5	198.2	5.8	7.2	9.2
秋田	9.1	123.6	178.1	6.7	8.2	10.2
盛岡	8.2	99.9	178.9	5.5	7.2	9.5
大船渡	8.8	142.6	179.9	6.6	7.9	9.9
宮古	8.5	100.1	194.8	6.3	7.6	9.6
仙台	10.0	101.5	193.8	7.6	9.0	11.1
石巻	9.1	94.8	196.5	6.8	8.2	10.1
山形	9.6	71.2	182.5	6.7	8.5	11.0
新庄	8.0	105.7	153.9	5.0	6.8	9.4
酒田	9.7	112.4	175.8	7.3	8.9	10.8
福島	11.1	83.9	192.5	8.3	10.0	12.4
若松	9.7	67.8	177.9	6.7	8.5	11.1
白河	9.7	105.4	187.4	7.0	8.6	10.9
小名浜	11.0	132.6	189.2	8.9	10.1	12.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4 ~ +0.4	84 ~ 114	95 ~ 103
東北日本海側	-0.5 ~ +0.5	88 ~ 110	94 ~ 106
東北太平洋側	-0.3 ~ +0.4	80 ~ 115	96 ~ 103

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.7	-0.4 ~ +0.4
東北日本海側	-0.6 ~ +0.7	-0.7 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.4
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.9	-0.4 ~ +0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。